

## 新入生のことば (副代表)

うららかな春の日差しに包まれるこの良き日に、私達は宮城教育大学の入学式を迎えることが出来ました。

本日は私達新入生のためにこのような式典を挙げて頂き、誠にありがとうございます。私達は今、伝統ある宮城教育大学の一員と認められた喜びと、新たに始まる大学生活への期待で胸が躍るような気持ちであります。また、杜の都仙台の名の通り、緑豊かなキャンパスで充実した四年間を過ごそうとの思いを新たにしております。

東日本大震災から七年が経過した現在、被災地では復興が進み、街には活気が戻ってきております。しかし、被災地の教育現場では依然として様々な問題が見受けられます。私自身、東日本大震災で被災をし、三月まで仮設住宅で生活をしていました。母校のグラウンドにも仮設住宅が建ち並び、体育の授業や学校行事など、思うように活動が出来ないことも多くありました。

また、現在は高台移転や仮設住宅からの退去、少子化による学校統合など、子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。そうした社会の中で子どもたちの心に寄り添い、安心できる居場所をつくるのが今教師に求められていることなのではないでしょうか。東北における教育の拠点である宮城教育大学では、防災教育が必修科目となっており、防災教育の研究センターがあるように、東北の教育復興という使命を担う教員の育成に最善な環境であると存じております。時間がどれほど経過しても癒えることのない、深い悲しみを負った子どもたちを明るく未来へ導けるような教員を私達は目指してゆきます。

また、2020年から小学校における英語教育が大きく変化するなど、グローバル化が私達の身近なところでも感じられるようになりました。そこで、世界各地の教育研究機関や大学と連携協定を結び、積極的に国際交流を行っている宮城教育

大学で自らの視野をさらに広げたいと思っております。海外留学やボランティアへの参加など、学生である時にしか出来ないことに挑戦し、グローバルな視野と豊かな人間性を育む努力をしてまいります。

また、大学生活では勉学に励むだけでなく、部活動やサークル活動を通して、多くの人と繋がりを持つことが出来ると思えます。大学でできる仲間は高校での友人とは違い、出身地や習慣が異なるため、自らの視野をより広げてくれる大きな存在であると考えております。また、これから始まる四年間の大学生活では辛いこと、苦しいことがあるかと思えます。その際、互いに励まし合い、支え合える学友を持ちたいと思っております。共に困難を乗り越えた仲間は、社会に出てからも心の支えとなることでしょう。四年間の大学生活を通して様々な経験を積み、一人の人間として大きく成長してまいりたいと存じます。そして新入生一同、自らの夢を実現するために努力してまいります。

しかし、私達のみ力だけでは乗り越えることが出来ない壁がありましたら、先輩方、諸先生方のお力添えを宜しくお願い致します。

最後になりましたが、本日も多忙の中、私達のためにご出席いただきました御来賓の皆様、学長他教職員の皆様、保護者の皆様に心より御礼申し上げます。まだまだ未熟な私達ですが、何卒多岐に渡るご指導宜しくお願い致します。

私達新入生一同、宮城教育大学の一員であることを誇りに、未来に向かって日々精進し、有意義な大学生活を送ることを誓い、新入生代表の挨拶といたします。

平成三十年 四月四日

新入生代表

初等教育教員養成課程 幼児教育コース 佐々木 彩花